2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	診療画像検査学Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対象学年	2年次	学期及び曜時限	前期	教室名	第3校舎 901教室
担当教員	吉田 昌裕、山﨑 勝 実務経験とその関連資格	近畿中央胸部疾患セン (吉田)/大阪市立大学 携わった。(山﨑)			種検査に携わった。 こして従事し各種検査に

《授業科目における学習内容》

X線TVシステムの基本構成を概説。カテーテル診断・治療で用いる循環器X線装置とその周辺機器の概要と管理のありかた。X線装置以外の画像診断装置(IVUS、OCT)の画像診断と管理。他モダリティ(特にCT,MR)との連携。インターベンションに対する画像の評価。 救急時の対応。

《成績評価の方法と基準》

筆記試験(100%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書「放射線機器学(1)」編:青柳康司

《授業外における学習方法》

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。

《履修に当たっての留意点》

X線発生装置の基本構成を知ることで、X線が人体にどのように作用するのかをより深く学ぶことができます。また、X線透視システムの基本構成と様々な検査を知ることで、診療放射線技師としての役割を理解し説明できるようになってください。

授美方	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講	授業を 通じての 到達目標	X線発生装置やX線制御装置などの構成を理解し説明できる。	極楽山にずいた	授業終了時に示す課題 を実施しておくこと
1	義形式	各コマに おける 授業予定	X線装置 I	を配布する	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	高電圧発生装置について理解し説明できる。	極業中に予いた	15 W((4 -> n4))) - m n-
2	我 形 式	各コマに おける 授業予定	X線装置Ⅱ	を配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
第	講	授業を 通じての 到達目標	インバータ式X線高電圧装置の特性について理解し説明できる。		授業終了時に示す課題 を実施しておくこと
2	義形式	各コマに おける 授業予定	インバータ式X線高電圧装置		
第	講	授業を 通じての 到達目標	陰極に関する特性である正焦点と副焦点を理解し説明できる。	極楽中に予問さ	板类处 7 吐火二十細節
4 回	式 お	各コマに おける 授業予定	X線管球	を配布する	授業終了時に示す課題 を実施しておくこと
第	講	授業を 通じての 到達目標	自動露出機構(AEC)の特性を理解し説明できる。	極業由に予防さ	松华仙 7叶),二,上四田
5回	義形式	形 各コマに を配布する			授業終了時に示す課題 を実施しておくこと

	業の法			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義	授業を 通じての 到達目標	イメージインテンシファイア(I.I.)装置の構成を理解し説明できる。	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
6 □	形式	各コマに おける 授業予定	イメージインテンシファイア(I.I.)装置 I		
第	授業を 通じての 到達目標		イメージインテンシファイア(I.I.)装置の特性を理解し説明できる。	極業由にずいよ	授業終了時に示す課題
7 回	義形式	各コマに おける 授業予定	イメージインテンシファイア(I.I.)装置 I I	を配布する	校業於 」 時に 小 9 課題 を実施しておくこと
第	講義	授業を 通じての 到達目標	フラットパネル(FPD)の構成を理解し説明できる。	極業由にずいな	运类效了哇匹
8 □	我形式	各コマに おける 授業予定	フラットパネル(FPD)	を配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
第	講義	授業を 通じての 到達目標	循環器X線装置とその周辺機器を理解し説明できる。	授業由にプルント	授業終了時に示す課題
9 回	形式	各コマに おける 授業予定	循環器X線装置とその周辺機器	を配布する	技業終 時に示り課題を実施しておくこと
第	講義	授業を 通じての 到達目標	循環器X線装置と他モダリティ(CT,MR,RI)との連携を理解し説明できる。		授業終了時に示す課題 を実施しておくこと
10 回	我形式	各コマに おける 授業予定	循環器X線装置と他モダリティ(CT,MR,RI)との連携 I	を配布する	
第	講	授業を 通じての 到達目標	循環器X線装置と他モダリティ(CT,MR,RI)との連携を理解し説明できる。	極性は一分には	授業終了時に示す課題 を実施しておくこと
11 回	義形式	各コマに おける 授業予定	循環器X線装置と他モダリティ(CT,MR,RI)との連携Ⅱ		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	血管内治療(インターベンション)の歴史と現況 救急時の対応を理解し説明できる。	極業由にずいよ	授業終了時に示す課題 を実施しておくこと
12	形式	各コマに おける 授業予定	血管内治療(インターベンション)の歴史と現況 救急時の対応 I	を配布する	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	血管内治療(インターベンション)の歴史と現況 救急時の対応を理解し説明できる。	極楽山にずいた	授業終了時に示す課題
13 回	我形式	各コマに おける 授業予定	血管内治療(インターベンション)の歴史と現況 救急時の対応Ⅱ	を配布する	を実施しておくこと
第	講	授業を 通じての 到達目標	血管拡張術と血管塞栓術 IVUS(血管内超音波)、OCT(光干渉断層法)、ポリグラフを理解し説明できる。	ار دادا جر حال کالا تکتا	
14	義形式	各コマに おける 授業予定	血管拡張術と血管塞栓術 IVUS(血管内超音波)、OCT(光干 渉断層法)、ポリグラフ I	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
第	講	授業を 通じての 到達目標	血管拡張術と血管塞栓術 IVUS(血管内超音波)、OCT(光干渉断層法)、ポリグラフを理解し説明できる。	極楽中につれて	Let Mic AL man L
第15回	義形式	各コマに おける 授業予定	血管拡張術と血管塞栓術 IVUS(血管内超音波)、OCT(光干 渉断層法)、ポリグラフ II	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題 を実施しておくこと

2020 年度 授業計画(シラバス)

学	科	診療放射線技師学科(夜間部)	科目	区	分	専門分野	授業の方法	講義
科目	名	診療画像検査学Ⅱ		必修/這	選択の	り別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象	学 年	2年次		学期及	び曜日	時限	前期	教室名	第3校舎 901教室
担当	教員	吉田 昌裕、山﨑 勝	実務経験とその関連資格				/ターで診療放射線技能 学医学部付属病院で診		種検査に携わった。 こして従事し各種検査に

《授業科目における学習内容》

X線TVシステムの基本構成を概説。カテーテル診断・治療で用いる循環器X線装置とその周辺機器の概要と管理のありかた。X線装置以外の画像診断装置(IVUS、OCT)の画像診断と管理。他モダリティ(特にCT,MR)との連携。インターベンションに対する画像の評価。 救急時の対応。

《成績評価の方法と基準》

筆記試験(100%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書「放射線機器学(1)」編:青柳康司

《授業外における学習方法》

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。

《履修に当たっての留意点》

X線発生装置の基本構成を知ることで、X線が人体にどのように作用するのかをより深く学ぶことができます。また、X線透視 システムの基本構成と様々な検査を知ることで、診療放射線技師としての役割を理解し説明できるようになってください。

	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義	授業を 通じての 到達目標	冠動脈のインターベンションとその撮影法 不整脈および心不 全のインターベンションとその撮影法を理解し説明できる。	授業中にプリント	板 类
16	我形式	各コマに おける 授業予定	冠動脈のインターベンションとその撮影法 不整脈および心不全のインターベンションとその撮影法 I	を配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
第	講義	授業を 通じての 到達目標	冠動脈のインターベンションとその撮影法 不整脈および心不 全のインターベンションとその撮影法を理解し説明できる。	授業中にプリント	
17 回	我形式	各コマに おける 授業予定	冠動脈のインターベンションとその撮影法 不整脈および心不 全のインターベンションとその撮影法 II	を配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	脳血管のインターベンションとその撮影法を理解し説明でき る。	極生がつ	授業終了時に示す課題 を実施しておくこと
18		各コマに おける 授業予定	脳血管のインターベンションとその撮影法	42 42 14 1 1 1 1	
第	講	授業を 通じての 到達目標	四肢血管のインターベンションとその撮影法を理解し説明できる。	極生がつ	授業終了時に示す課題 を実施しておくこと
19 回	義形式	各コマに おける 授業予定	四肢血管のインターベンションとその撮影法	を配布する	
第 20 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	先天性心疾患のインターベンションとその撮影法を理解し説明 できる。	極楽山アープリング	
		各コマに おける 授業予定	先天性心疾患のインターベンションとその撮影法	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと

	業の法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講	授業を 通じての 到達目標	肺動脈疾患のインターベンションとその撮影法を理解し説明できる。	Les Mile I a Const	
21 回	義形式	各コマに おける 授業予定	肺動脈疾患のインターベンションとその撮影法 I	授業中にプリント を配布する	授業終了時に示す課題 を実施しておくこと
第	講	授業を 通じての 到達目標	肺動脈疾患のインターベンションとその撮影法を理解し説明で きる。	極楽山アープリンプ	板类处了吐火二十 細暗
22	義形式	各コマに おける 授業予定	肺動脈疾患のインターベンションとその撮影法Ⅱ	を配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
第	講	授業を 通じての 到達目標	SHD(心構造疾患)のインターベンションと撮影法を理解し説明できる。	極性リテープリンプ	授業終了時に示す課題 を実施しておくこと
23 回	義形式	各コマに おける 授業予定	SHD(心構造疾患)のインターベンションと撮影法	を配布する	